

【ユニット】 環境と健康

【ユニットディレクター】

UD：亀井 美登里（社会医学）
UD 補佐：宮崎 孝（社会医学）

【一般的な目標】

環境と健康では、社会環境、生活環境、職場環境におけるヒトへの健康影響を評価し、その現状と対策や予防方法を学ぶ。医師として種々の環境下でのヒトの健康関連課題を解決するための知識と思考力を身につけると共に、社会に貢献する実地臨床医をめざす。

全人的な視点、地域の視点、人生の視点、社会の視点からのアプローチを理解し、個人と社会のウェルビーイングを実現する。

【具体的な目標】

ヒトを取り巻く生物学的環境、物理化学的環境、社会的環境等、社会と健康・疾病との関係を理解し、健康影響評価・健康障害の予防・疾病対策がとれる実地臨床医を目標とする。

具体的には以下の項目を習得する。

1. 環境保健を理解しその法律・制度、環境の生体影響評価とその対策を説明できる。
2. 産業保健を理解し労働者の健康管理、健康保持増進のため法律・制度、産業医の役割を説明できる。
3. 食品保健を理解し食に関連する法律や制度、健康管理・健康増進対策について説明できる。

【学習方法】

聴講を基に、自主的に教科書・参考書を読み予習・復習が求められる。講義資料、教科書の中から、身近な社会環境・生活環境でのヒトの健康問題を思考する。また、自然環境、社会環境、生活環境、労働環境に存在する各種有害要因による健康障害との関連を図書館にある関連の参考書等で調査することが求められる。講義内小テストは当該講義内に解説を行う。

1. 自然環境、職場環境等、ヒトを取り巻く環境の健康影響を理解する。
2. 職場環境、食環境、環境衛生等の法律や制度を理解すると共に、法律や制度の理念を理解し、環境のヒトへの影響を評価・予防法を考察する。
3. 講義資料、教科書、参考書などを用いて各自予習・復習を行う。
4. これらの講義で得られた知識を整理・体系化すると共に表現、活用できるようにする。

【評価方法】

定期試験を行う。定期試験の形式：記述式+MCQ形式。ユニットの成績は定期試験を行う。定期試験の成績で評価する。再試験は1回行う。

（なお、場合によっては成績評価を行うにあたりレポート等を考慮することがある。）

【教科書】

公衆衛生がみえる 2022/2023 医療情報科学研究所 メディックメディア

【参 考 書】

- ◆ 国民衛生の動向 2022/2023 厚生労働統計協会
- ◆ 労働衛生のしおり 令和2年度, 中央労働災害防止協会
- ◆ 産業保健マニュアル(改訂6版), 森晃彌(編), 南山堂

【授業予定表】

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
環境01	04月11日	(木)	4	環境と健康総論	亀井(社会医学)
環境02	04月12日	(金)	3	環境衛生と健康3:生活環境衛生	宮崎(社会医学)
環境03	04月12日	(金)	5	環境衛生と健康2:気候変動と医療、環境基準と環境影響評価	太田(社会医学)
環境04	04月25日	(木)	3	環境衛生と健康1:大気汚染・水質汚濁	宮崎(利)(社会医学)
環境05	04月26日	(金)	4	健康危機管理:自然災害と健康影響	坂田(社会医学)
環境06	05月10日	(金)	3	グローバルヘルスの役割や医療体制	町田(社会医学)
環境07	05月16日	(木)	4	食品保健1:国民栄養の現状と課題	高橋(社会医学)
環境08	05月16日	(木)	5	食品保健2:食品保健・食中毒	宮崎(社会医学)
環境09	05月29日	(水)	5	産業保健概論1:産業保健の基本	林(社会医学)
環境10	05月30日	(木)	4	産業中毒1:産業中毒	角田(社会医学)
環境11	05月30日	(木)	5	産業中毒2:職業性疾患	角田(社会医学)
環境12	06月10日	(月)	4	産業保健概論2:産業保健の関係法規	亀井(社会医学)
環境13	06月04日	(火)	4	産業保健概論3:作業環境管理・放射線障害	中川(社会医学)
環境14	06月04日	(火)	5	産業保健概論4:健康保持増進政策(THP)	中川(社会医学)
環境15	05月31日	(金)	3	産業中毒3:化学物質の健康影響と管理	角田(社会医学)
環境16	<u>06月13日</u>	<u>(木)</u>	<u>5</u>	産業環境中毒3:酸欠・金属・有機溶剤中毒の現状と対策	宮崎(社会医学)
環境17	06月12日	(水)	6	産業精神保健:産業精神保健の基本・産業精神保健活動	森田(社会医学)
環境18	06月20日	(木)	4	産業環境中毒2:高気圧環境・高圧酸素療法	望月(社会医学)
環境19	06月21日	(金)	2	産業環境中毒1:騒音・振動・暑熱による障害	大野(社会医学)
環境20	<u>06月20日</u>	<u>(木)</u>	<u>5</u>	産業保健概論6:職場の健康管理・健康確保対策	宮崎(社会医学)

【ユニット】

環境と健康

【ユニットディレクター】

亀井美登里（社会医学）

【コンピテンス】

1. 社会人および医師としての基本姿勢
9. 地域および国際社会の医療

【マイルストーン】

- 1-(5). 医療資源の有効活用について自分の考え方を確立している。
- 9-(2). 医療経済や地域における様々な保健医療福祉介護の制度と資源を理解し、地域や社会の要請について概説できる。
- 9-(3). 保健医療における国際的課題を理解し、医療における国際貢献の意義を概説できる。

【評価方法】

- 1-(5). 定期試験（筆記試験）
- 9-(2). 定期試験（筆記試験）
- 9-(3). 定期試験（筆記試験）

【補習および再評価の方法】

- 1-(5). 再試験（筆記試験）
- 9-(2). 再試験（筆記試験）
- 9-(3). 再試験（筆記試験）